

普及技術

分類名〔花き〕

普 6

切り花ハボタンの無加温施設栽培における
12 月出荷作型に適した品種と定植時期（追補）

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

本県での切り花ハボタン無加温施設栽培において、品種「晴姿」、「ラッフルバニラ」、「ラッフルローズ」及び「フレアローズ」では 9 月 9 日、「フレアホワイト」では 9 月 30 日前後を目安に定植することで切り花長 60cm 以上の株を 8 割以上確保することができる。

普及対象：花き生産経営体等
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

切り花ハボタンは、迎春用だけでなく利用の幅が広がっており、一定の需要がある。無加温ハウスで栽培できるため導入コストが低く、新規導入による品目拡大や、空きハウスを持つ農家での生産も期待できる。一方で、宮城県では生産例が少ないため、12 月の需要期に良品を出荷するための品種選びや定植時期の検討が必要である。そのため、「普及に移す技術」第 99 号（令和 5 年度）において、切り花ハボタンについて切り花長 60cm 以上を確保するための本県での定植適期を明らかにしているが、更に定植時期を遅くできる可能性があった。

そこで、これまでの定植時期より遅い定植時期について検討したところ切り花長 60cm 以上の株を 8 割以上確保することができる品種と定植時期を明らかにしたので普及技術とする。

2 普及技術

- （1）切り花ハボタンの 12 月出荷作型において、切り花長 60cm 以上の株を 8 割以上確保するためには、「晴姿」、「ラッフルバニラ」、「ラッフルローズ」及び「フレアローズ」では 8 月 29 日前後には種し、9 月 9 日前後に定植、「フレアホワイト」では 9 月 17 日前後には種し 9 月 30 日前後に定植する（表 1、表 4）。
- （2）産地直売所などでの販売を目的とし、切り花長 40cm 以上の株を 8 割以上確保するためには「晴姿」、「ラッフルバニラ」、「ラッフルローズ」及び「フレアホワイト」では 9 月 17 日前後には種し、9 月 30 日前後に定植する（表 1、表 4）。

表 1 定植時期が切り花ハボタンの収量及び切り花品質に及ぼす影響（令和 7 年度）

品種	試験区	は種日	切り花長 60cm以上 (%)	切り花長 40cm以上 (%)	切り花品質（12月15日から25日に収穫）							
					切り花長(cm)		切り花重(g) ²		外葉径(cm) ³		茎径(mm) ⁴	
					平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
晴姿	8/27定植	8/15	97	100	72.7	4.8 a	100.1	24.1 ns	15.2	1.2 ns	11.0	1.0 ns
	9/ 2定植	8/24	87	100	66.8	5.7 bc	92.9	5.2	16.0	0.4	10.4	0.4
	9/24定植	9/12	100	100	57.5	3.9 ab	85.2	6.7	16.6	0.6	11.1	0.3
	9/30定植	9/17	0	93	51.2	6.3 c	66.6	16.6	16.6	1.0	11.4	0.9
ラッフル バニラ	8/27定植	8/15	100	100	89.5	10.8 a	146.0	4.9 ns	20.5	0.9 ns	11.8	0.5 ns
	9/ 2定植	8/24	93	100	82.2	8.6 ab	116.7	34.0	20.0	0.9	10.8	0.9
	9/24定植	9/12	90	100	70.7	7.4 ab	99.1	14.1	21.0	1.1	11.4	1.1
	9/30定植	9/17	23	100	60.3	6.9 b	110.5	27.9	22.9	1.4	11.6	0.6
フレア ローズ	8/27定植	8/15	100	100	94.7	13.1 a	208.6	17.2 a	27.6	1.7 a	14.3	1.5 a
	9/ 2定植	8/24	57	93	74.3	15.1 ab	116.1	29.0 b	23.5	1.4 ab	11.7	1.1 ab
	9/24定植	9/12	97	100	70.0	7.0 ab	115.6	21.0 bc	25.1	2.7 ab	12.9	0.6 ab
	9/30定植	9/17	3	77	57.1	6.1 b	69.7	12.0 bd	21.8	0.8 b	11.1	0.7 b

同一品種内において、異なる英小文字間は 5 %水準で有意差あり (Tukey法)。

² 着色葉と緑色葉 3 重を残して、葉を摘除した切り花の重さ³ 着色葉と緑色葉 3 重を残して、葉を摘除した葉の最大径⁴ 切り花中央部位の長さ

3 利活用の留意点

- （1）本試験は令和6年度から令和7年度にかけて、いずれも宮城県農業・園芸総合研究所内（宮城県名取市）で行った。
 - （2）試験時の耕種概要は表2、試験区は表3、栽培ハウスの温度推移は図1のとおりである。
 - （3）切り花ハボタンでは、平成24年度和歌山県農林水産試験研究成果情報を参考に、切り花長60cm以上の株を上物とした。また、市場等の聞き取りから、切り花長40cm以上の株を商品花とした。出荷基準等については、市場等の出荷先に確認が必要である。
 - （4）定植時期の判断は、は種から14日前後を目安として、本葉が3から4枚展開した頃とした。
 - （5）本試験では、「晴姿」では「2 普及技術（1）」で示した定植日以降でも切り花長60cm以上確保できたが、年によっては着色葉の発達が進まないことや、葉の巻き数の低下等の品質低下が認められたことから除外した（図2）。
- （問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所施設園芸部 電話 022-383-8122）

4 背景となった主要な試験研究の概要

- （1）試験研究課題名及び研究期間
宮城から発信する園芸作物生産技術の開発（令和6年度～令和7年度）
- （2）参考データ

表2 耕種概要（令和6年度及び令和7年度共通）

試験ほ場	宮城県農業・園芸総合研究所 花きほ場 鉄骨ハウス
施肥	基肥NPK 各成分量で10kg/10a(CDUたまご化成S555 (15:15:15))
育苗	は種育苗：育苗培土(N170)、288穴セル 本葉3～4枚で定植
供試品種	晴姿(白系・丸葉・高性種)、ラッフルバニラ(白系・フリンジ・高性種)、ラッフルローズ(紅系・フリンジ・高性種)、フレアローズ(紅系・フレア・高性種)、フレアホワイト(白系・フレア・高性種)
温度条件	無加温
栽植密度	株間・条間 12cm 6条ネット6条植え
は種・定植日・供試株数	表3を参照

表3 試験区の構成（令和6年度及び令和7年度）

試験実施年度	供試品種	試験区（は種日-定植日）	供試株数
令和6年度	晴姿(白系・丸葉・高性種)、 ラッフルバニラ(白系・フリンジ・高性種)、 ラッフルローズ(紅系・フリンジ・高性種)、 フレアローズ(紅系・フレア・高性種)、 フレアホワイト(白系・フレア・高性種)	8/26定植 (8/13-8/26)	24株 × 3反復
		9/ 9定植 (8/29-9/ 9)	
		9/24定植 (9/ 9-9/24)	
		9/30定植 (9/17-9/30)	
令和7年度	晴姿(白系・丸葉・高性種)、 ラッフルバニラ(白系・フリンジ・高性種)、 フレアローズ(紅系・フレア・高性種)	8/27定植 (8/15-8/27)	30株 × 3反復
		9/ 2定植 (8/24-9/ 2)	
		9/24定植 (9/12-9/24)	
		9/30定植 (9/17-9/30)	

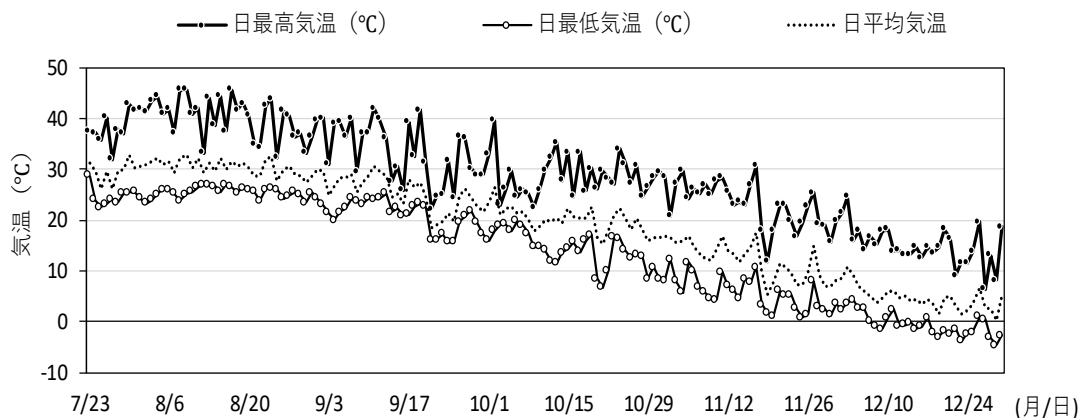
表4 定植時期が切り花ハボタンの収量及び切り花品質に及ぼす影響（令和6年度）

品種	試験区	は種日	切り花長 60cm以上 (%)	切り花長 40cm以上 (%)	切り花品質（12月15日から26日に収穫）							
					切り花長(cm)		切り花重(g) ²		外葉径(cm) ³		茎径(mm) ⁴	
					平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
晴姿	8/26定植	8/13	96	100	75.7	0.9 a	102.6	3.0 a	13.8	1.8 a	11.0	0.7 a
	9/ 9定植	8/29	58	100	64.0	2.5 b	71.4	4.7 b	13.8	2.2 a	9.6	0.4 b
	9/24定植	9/ 9	0	96	55.0	0.5 c	61.3	6.6 bc	13.1	0.6 a	9.8	0.5 b
	9/30定植	9/17	0	100	48.6	5.2 c	47.5	7.4 cd	13.0	2.3 a	9.0	0.3 b
ラッフル パニラ	8/26定植	8/13	88	100	87.6	1.4 a	135.8	8.4 a	18.0	2.0 a	11.1	0.8 a
	9/ 9定植	8/29	83	100	81.7	3.7 ab	108.6	10.0 ab	17.1	1.1 a	10.3	0.4 a
	9/24定植	9/ 9	79	100	69.7	6.3 cd	89.7	8.5 bc	16.5	0.1 a	10.7	0.5 a
	9/30定植	9/17	46	100	61.9	1.6 d	75.0	19.5 cd	14.4	1.9 a	0.3	0.3 a
ラッフル ローズ	8/26定植	8/13	96	100	80.4	6.1 a	112.2	29.2 a	14.6	2.3 a	12.2	0.8 a
	9/ 9定植	8/29	87	100	71.6	6.4 ab	109.5	22.6 a	16.4	1.6 a	11.4	0.2 ab
	9/24定植	9/ 9	75	100	65.3	4.0 bc	82.0	16.0 a	15.8	1.6 a	10.8	0.4 ab
	9/30定植	9/17	40	100	57.0	1.5 c	73.8	10.3 a	16.7	1.7 a	10.7	0.5 b
フレア ローズ	8/26定植	8/13	86	100	91.0	3.2 a	179.0	9.0 a	20.0	1.6 a	12.2	0.3 a
	9/ 9定植	8/29	82	100	82.6	5.4 ab	129.0	25.7 ab	18.5	1.9 a	11.5	0.5 ab
	9/24定植	9/ 9	70	92	73.8	1.4 b	95.9	19.2 b	15.3	2.3 a	11.4	0.8 ab
	9/30定植	9/17	63	100	64.7	2.3 c	83.0	13.0 b	16.1	1.7 a	10.7	0.5 b
フレア ホワイト	8/26定植	8/13	87	100	100.2	9.7 a	204.6	29.0 a	20.6	1.5 a	12.6	1.5 a
	9/ 9定植	8/29	83	100	86.3	3.8 b	158.7	27.2 ab	18.8	2.1 a	11.8	0.7 a
	9/24定植	9/ 9	92	100	77.5	1.6 bc	124.8	17.8 bc	17.5	1.2 a	11.7	0.3 a
	9/30定植	9/17	83	100	70.8	1.1 c	91.9	4.4 c	16.8	1.7 a	10.8	0.3 a

同一品種内において、異なる英小文字間は5%水準で有意差あり(Tukey法)。

² 着色葉と緑色葉3重を残して、葉を摘除した切り花の重さ³ 着色葉と緑色葉3重を残して、葉を摘除した葉の最大径⁴ 切り花中央部位置の長径

令和6年度



令和7年度

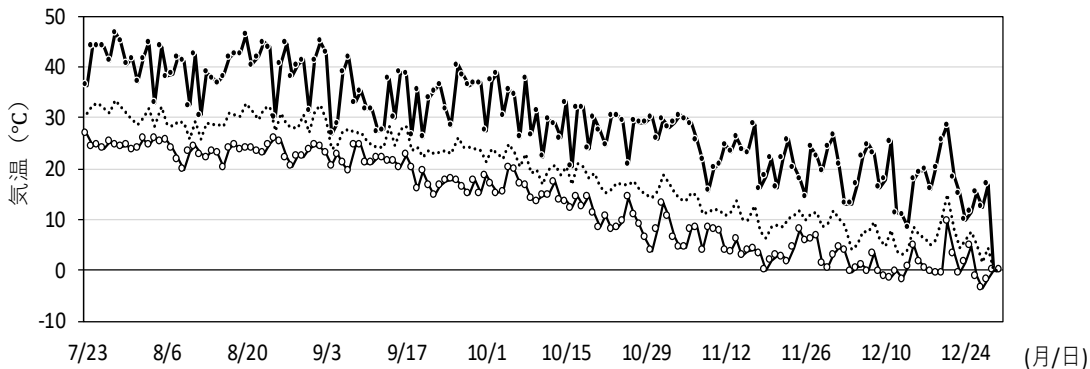


図1 栽培ハウスの温度推移（令和6年度及び令和7年度）



図2 着色葉や葉の巻き数の低下の例

注) 「晴姿」令和7年9月24日定植区（令和7年12月17日撮影）

(3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

無加温栽培が可能な花材切り花ハボタンの定植適期（第99号普及技術）

ロ その他

(イ) 八島ら（2025）、無加温栽培が可能な花材切り花ハボタンの定植適期、東北農業研究
「無加温栽培が可能な切り花ハボタンにおける12月出荷作型の定植適期」、p 63-64

(ロ) 令和5年度成果情報「無加温栽培が可能な切り花ハボタンにおける12月出荷作型の定
植適期」

(ハ) 令和6年度東北農業推進会議 研究成果情報

(4) 共同研究機関 なし